

服部之總 はつどう 史學者。明治二十四年九月、二十四日島根縣生れ、昭
 和二十一年二月四日歿（二九〇一）矣。本名之總 くわんぞう。筆名虎伯峻平。北見
 總一、四房山、岩槻書屋、總、葦間龍平等。大正十四年東京帝國大
 學文學部社會學科卒。東洋大學講師、中央公論社出版部勤務、コロ
 タリア科學研究所研究員等を経て、昭和七年唯物論研究會結成に參劃
 し、翌年花王石鹼株式會社長瀬商會入社。二十一年鎌倉大學校（ひち
 鎌倉）カデミヤ）教授、二十七年法政大學教授。
 譯著書、エツチ・ゲイツ作「モスコ・ワルツ・赤色ダンサー」（北
 見總一名、譯、昭和六年二月四日春陽堂）「世界大都會尖端ジャズ文
 學」（、スタンレー・ローデヤー著「太平洋の歴史」（同、譯、昭
 和七年四月一日モリス）、「明治維新史研究」（昭和八年十月十六日
 白揚社）、「近代日本外交史」（昭和八年十一月十五日白揚社）、「維
 新史の方法論」（昭和九年五月十六日白揚社）、「黒船前後」（昭和
 十年八月十七日清和書店）、「歴史論」（昭和十年十一月十日二書書
 房「唯物論叢書」）、「初代長瀬實郎傳」（昭和十五年十月十二日花
 王石鹼五十年史編纂委員會）、「近代日本外交史」（昭和二十二年二
 月二十五日世界書院）、歴史中隨筆集「F. Moods Casey」（昭和二十二年十一
 月十日眞善美社）、「ドイツ・シブシヨウ・イデオロギー」（昭和
 二十二年十一月、千日白書院）、「絶対主義論」（昭和二十二年一
 月二十五日隨書房）、「尊攘主義と経緯主義」（遠山英樹）昭和
 和二十二年五月十日白書院「東洋文化講座」（、）「親鸞のオート」（昭
 和二十三年十月、千日國中社）、「蓮如」（昭和二十三年十月二十日
 新地書房）、「天塚史學批判」（合著・大學新聞連盟編輯、昭和二十二

年十一月二十日大隈新聞連盟出版部)、『思想と言語』(合著・田邊
壽利編、昭和二十二年十一月二十日國立書院「社會學大系」)、可
由の旗の下に―私はなぜ共產黨員になつたか』(合著・労働救済會編
昭和二十四年四月二十日二書房)、可止しん世界觀』(合著・民主
評論編輯部編、昭和二十四年五月二十日民主評論社)、可日本佛敎の
創建者』(合著・森龍吉編、昭和二十四年七月五日京都・大雅堂)、
可親鸞ノ一ト』(昭和二十五年二月二十日神村書店)、可明治の政治
家たち』全冊(下卷、昭和二十五年四月十日、下卷、二十九年十一月二十日岩波書店「岩波新書」)、可明治の革命』(昭和二十五年八月十五日日本評論社)、隨筆集『微視の史學』(昭和二十八年四月五日理論社)、可原敬自伝』(昭和二十九年九月二十日朝日新聞社「朝日文化手帖」)、可俳句日記鎌倉山夜話』(昭和二十一年七月二十一日河出書房)、可明治維新史―付原敬自伝』(下山二郎解説、昭和四十二年六月十五日、ゆかり社「叢書名著の復興」)、可黒船前後・志士と経済他上篇』(昭和五十六年七月十八日岩波書店「岩波文庫」)等。
文献、山田四郎遠山茂樹編『服部之總・人と學問』(昭和二十二年七月二十日日本経済評論社)等。